

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：社会教育振興費

事業名 高等学校PTA連合会事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 高校教育課 高校総合支援係 電話番号：058-272-1111(内8665)

E-mail : c17786@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 874千円 (前年度予算額： 874千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	874	0	0	0	0	0	0	0	874
要求額	874	0	0	0	0	0	0	0	874
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

本事業は昭和38年度より実施され、県高等学校PTA連合会の活動を促進し、高校生の健全育成を図ってきた。高校生を取り巻く教育環境は、「いじめ」、「不登校」、SNS等によるネットトラブル」など厳しい状況にあり、諸問題を的確に把握して生徒の健全育成を図ることが社会全体の課題となっている。

また、子育てに困難を抱える家庭の増加や、家庭や地域の教育力の低下が指摘されている中、PTAは問題解決のため、家庭・学校・地域とのパイプ役として貢献している。高校生の健全育成や高校教育の発展のために、PTAの諸活動に対する期待は高まっている。

県高等学校PTA連合会は、各校のPTAから構成される団体であり、各PTAの相互交流や連携を推進している。また、家庭教育啓発資料を作成し、家庭の教育力向上に務めている。そのため、県高等学校PTA連合会の活動を支援することで家庭、地域教育力向上を図っていく。

(2) 事業内容

PTフォーラム大会の開催、機関紙「高P連会報」及び家庭教育啓発資料の刊行に係る費用の一部を支援することにより、県高等学校PTA活動を促進し、家庭の教育力の向上、子どもたちの健全育成、社会教育への理解を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担10/10、補助率：補助対象経費の1/2以内

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	874	県高等学校 P T A 連合会へ補助
合計	874	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育振興基本計画
施策 I 「豊かな人間性の育成」
7 家庭や地域と学校が連携した子どもたちの育成

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	高等学校PTA連合会事業費補助金
補助事業者（団体）	岐阜県高等学校PTA連合会 (理由) 家庭教育支援条例の啓発や高校生の健全育成に係るPTA諸活動を実施する団体のため。
補助事業の概要	(目的) 家庭教育支援条例の啓発や高校生の健全育成に係るPTA諸活動を支援し、家庭、地域教育力向上を図る。 (内容) PTフォーラム大会の開催や、機関紙等の刊行にかかる費用の一部補助。
補助率・補助単価等	定額 (内容) 予算の範囲内 (理由) 社会教育の振興を図るため。
補助効果	PTA活動を促進することで、指導者の資質向上及び会員の学習意欲の高揚、社会教育への理解が図られ、家庭や地域の教育力が向上する。
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 第4次教育基本振興計画の終期のため。

(事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか
- ・PTフォーラム大会の開催により、保護者の学びが深まり、家庭教育の在り方や青少年の健全育成に係る諸問題の解決に向けた活動が活性化する。
- ・機関紙等の発行により、全会員が家庭教育の在り方について考える機会をもち、家庭教育力の向上を目指す気運がより高まる。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H28)	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	終期目標 (R10)	達成率
①PTフォーラム大会参加者	388人	300人	330人	302人	420人	71.9%

補助金交付実績 (単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	974	825	874	874	974	874

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙等の発行により、家庭教育力の向上をめざす気運の醸成が図られている。 ・スマートフォンやいじめ等、生徒を取り巻く課題解決に向けた取組が行われ、青少年の健全育成に寄与している。
	指標① 目標：420人 実績： 300人 達成率： 71.4% 【対面開催】
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙等の発行により、家庭教育力の向上をめざす気運の醸成が図られている。 ・スマートフォンやいじめ等、生徒を取り巻く課題解決に向けた取組が行われ、青少年の健全育成に寄与している。 ・PTフォーラムでは、各PTAの好事例を共有し、PTA活動の効率化を促進している。
	指標① 目標：420人 実績： 300人 達成率： 78.6% 【対面開催】
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙等の発行により、家庭教育力の向上をめざす気運の醸成が図られている。 ・スマートフォンやいじめ等、生徒を取り巻く課題解決に向けた取組が行われ、青少年の健全育成に寄与している。 ・PTフォーラムでは、各PTAの好事例を共有し、PTA活動の効率化を促進している。
	指標① 目標：420人 実績： 302人 達成率： 71.9% 【対面開催】

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</p> <p>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	団体は、各PTAの連携を促進するとともに、青少年の健全育成と家庭教育の充実に力を注いでおり、引き続き支援する必要がある。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）</p>	
(評価) 3	PTフォーラム大会を開催し、今日的な課題に対応するための講演会や実践報告を行っている。また、青少年の健全育成に向けた活動を日頃から実践し、指導者や構成員の育成に積極的に取り組んでいる。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	団体が実施するフォーラムには、県として必ず参加するなど連携を強化している。また、各種会議を状況に応じてオンライン会議形式で実施するなど、効率性を高めながら実施している。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>家庭教育支援条例の啓発や子どもの健全育成には、社会教育団体等との連携・協力が不可欠であり、今後も継続することが望ましい。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>団体は各PTAを連携させ、県全体の家庭教育の充実及び子どもたちの健全育成に寄与している。そのため、引き続き活動を支援していく必要がある。</p>
